

SHINPI TRAIL

信飛トレイル

松本と高山を結ぶ、全長約115kmの歩くトレイル

2000年以降、山頂を目指す登山ではなく、様々な道を歩きながら、地域の自然や歴史、文化に触れることができるロングトレイルが日本各地につくられています。信飛トレイルもその一つ。豊かな自然と歴史に彩られた古道や街道でつなぎ、峠を越え、中部山岳国立公園に指定された飛騨山脈(北アルプス)をまたぐ松本・高山間の115km。このトレイルを通して里と山と人とを結びます。

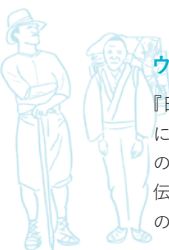


火山の恵みでつちかわれた飛騨山麓の里山文化

火山活動によって形成された山々が聳え立つ飛騨山脈(通称『北アルプス』)。そこに降り注いだ雨は山肌を伝い、徐々に集まり清流となって山脈の東西に流れ落ちます。多様な溪流のそばには集落がいくつも生まれ、広大な飛騨山脈をまたぐ里山の風土をつちかいました。

飛騨山脈を越えて古道がつなぐ信濃と飛騨

信濃地方と飛騨地方の間には、歴史に彩られた古道が数多く残っています。かつて、鎌倉街道や飛騨新道、徳本峠、中尾峠、安房峠、野麦峠、平湯峠などの古道は、貴重な交通網として飛騨山脈を挟んだ広大な地域の人とモノの移動に使われ、両地域の文化を育みました。



ウェストンが愛した日本の近代登山史発祥の地

『日本アルプス』と命名したウィリアム=ガウランドや、日本に近代登山をもたらしたウォルター=ウェストンらが、現在の松本-高山の間の峠道を越えて幾度も歩く旅をしたと伝えられています。この地域には日本の近代登山史発祥の地ならではのクラシカルな魅力が詰まっています。

信飛トレイルを一緒につくり、
盛り上げていきませんか？

(一社)信飛トレイル準備委員会

一般社団法人信飛トレイル準備委員会は2023年4月に設立され、トレイルルートの調査等、オープンに向けた準備、利用促進や維持活用のための活動を続けて参ります。信飛トレイルを通して、地域資源を再認識し、地域の連携・活性化・観光振興に寄与すること、また、ロングルートを歩くことで、豊かな自然風土をたっぷりと感じ、足元から自然や暮らしを見つめ、様々な発見を促して、より良い社会につなげることを目的としています。豊かな自然環境が息づく北アルプス山麓の松本・高山という二つの街を、古来の街道と同じように一本のトレイルで結び、既存の枠組みを越えた一つの共同体として、整備・保全活動を行い、同じ理念の下、愛着をもってこのトレイルを育てていければと考えています。以上の理念を実現し、美しい自然環境を子どもたちに残すために、信飛トレイルは以下の憲章を掲げ、実践します。

信飛トレイル憲章

- 自然への畏敬の念を持ち、自然の恵に感謝します
- 古道を活かし、歴史と文化を未来に繋ぎます
- アルプスの火山や湧き出る水、大地の恵を感じる道とします
- 歩く中で新たな発見、自己探求を促す道とします
- 地域住民とハイカーに敬意を払い、共に助け合います
- トレイルコミュニティを作り、持続可能なトレイルの維持・保全を行います



入会のご案内

活動の理念に賛同し、一緒に活動する会員の募集をおこなっています。信飛トレイルは、この会員組織が活動の基盤となります。共にこの豊かな自然と山麓の暮らしを守り、愛されるトレイルづくりをしていきましょう。

個人 賛助会員 3,000円/年
(年2回の会報・オリジナルステッカー)

企業 特別会員 100,000円/年~
(年2回の会報・公式サイトへの掲載)

QRコードのお申込みフォームより随時受付中です。▶▶▶



■ お問い合わせ

(一社)信飛トレイル準備委員会

E-mail shinpitrail2023@gmail.com



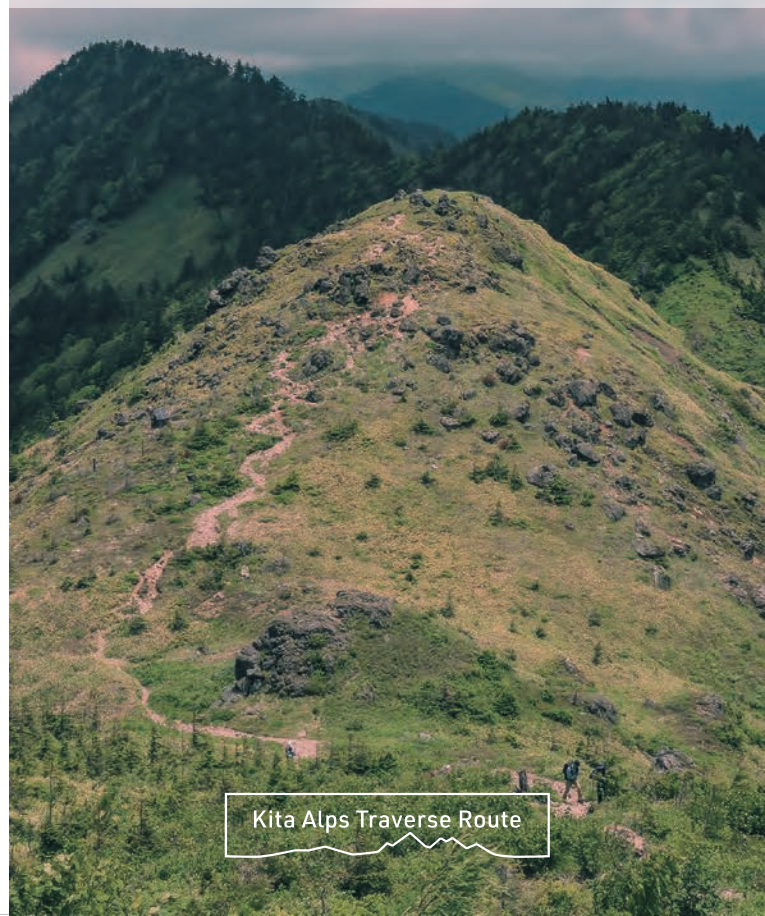
instagram

\ 2024年 オープン /



SHINPI TRAIL
信飛トレイル

— 松本・高山をつなぎ 里・山・人を結ぶトレイル —



Kita Alps Traverse Route

SHINPI TRAIL

信飛トレイル

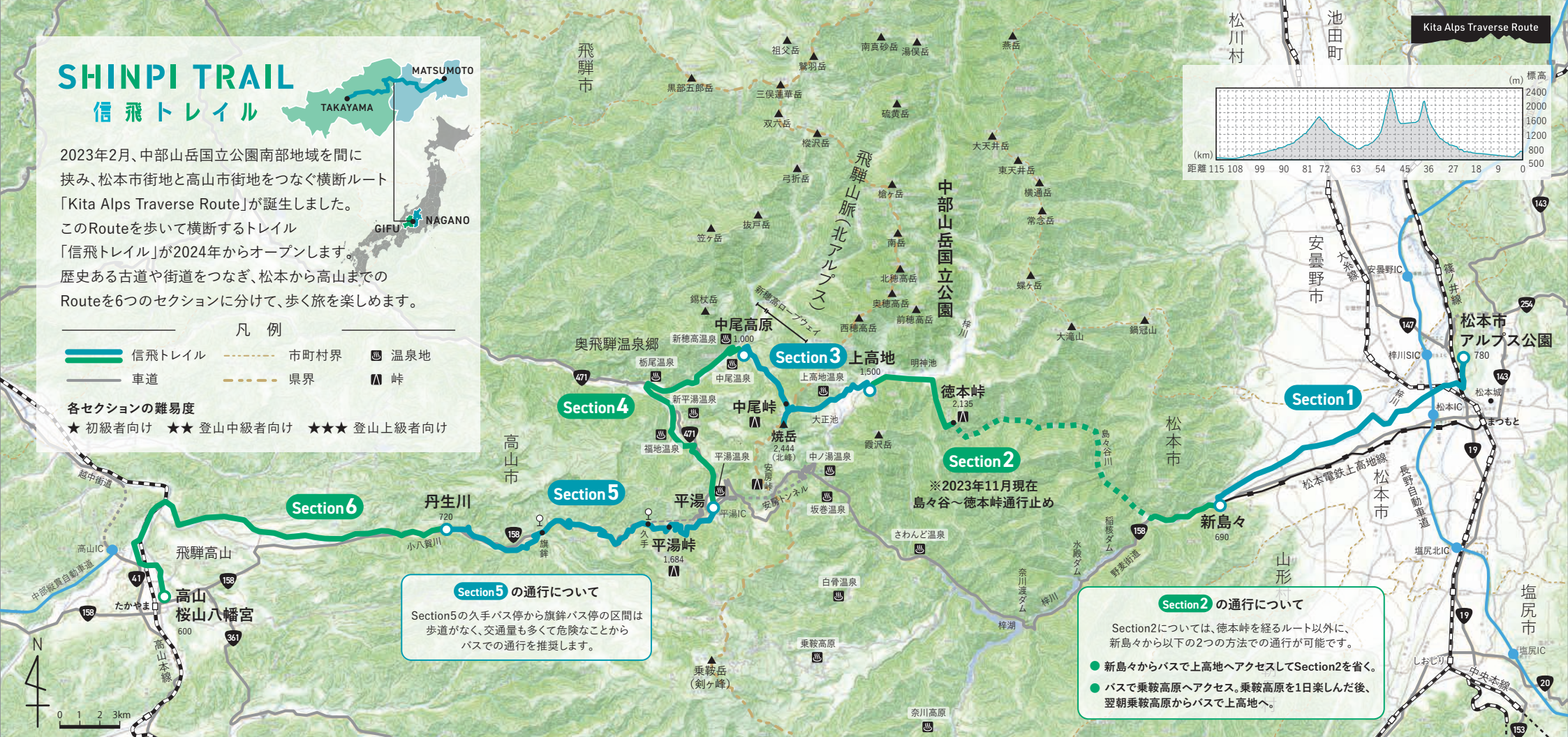
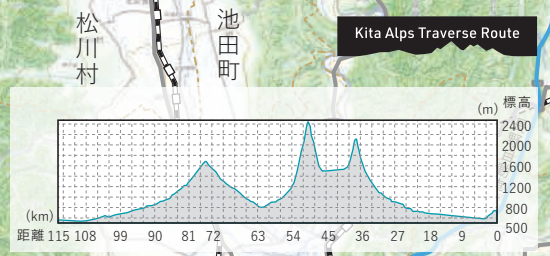
2023年2月、中部山岳国立公園南部地域を間に挟み、松本市街地と高山市街地をつなぐ横断ルート「Kita Alps Traverse Route」が誕生しました。このRouteを歩いて横断するトレイル「信飛トレイル」が2024年からオープンします。歴史ある古道や街道をつなぎ、松本から高山までのRouteを6つのセクションに分けて、歩く旅を楽しめます。

凡例

- 信飛トレイル
- 市町村界
- 温泉地
- 車道
- 県界
- ▲ 峠

各セクションの難易度

- ★ 初級者向け
- ★★ 登山中級者向け
- ★★★ 登山上級者向け



Section5 の通行について
Section5の久手バス停から旗簾バス停の区間は歩道がなく、交通量も多くて危険なことからバスでの通行を推奨します。

Section2 の通行について
Section2については、徳本峠を経るルート以外に、新島々から以下の2つの方法での通行が可能です。
● 新島々からバスで上高地へアクセスしてSection2を省く。
● バスで乗鞍高原へアクセス。乗鞍高原を1日楽しんだ後、翌朝乗鞍高原からバスで上高地へ。

Section6 丹生川～高山



日本の原風景といえる里山里田が残る丹生川から古い街並みや飛騨の匠、木の文化を感じる高山へ。

- 歩行距離 22.3km
- 参考タイム 約8時間
- 最高・最低標高 785～540m
- 難易度 ★

Section5 平湯～丹生川



平湯峠を越えて、道祖神などの石造り、木と関わり深い地域文化を味わいつつ高山市丹生川へ。

- 歩行距離 22km
- 参考タイム 約7時間
- 最高・最低標高 1,684～785m
- 難易度 ★

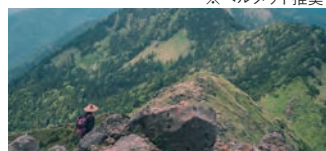
Section4 中尾高原～平湯



奥飛騨温泉郷の複数の温泉地を経由して火山の恵みを感じながら中尾高原から平湯へ。

- 歩行距離 16.1km
- 参考タイム 約6時間30分
- 最高・最低標高 1,265～783m
- 難易度 ★

Section3 上高地～中尾高原



清流美しい上高地から活火山の焼岳・中尾峠を越えて、かつての鎌倉街道・飛騨新道の関所、奥飛騨の中尾高原へ。

- 歩行距離 11.2km
- 参考タイム 約8時間
- 最高・最低標高 2,444～1,083m
- 難易度 ★★

Section2 島々～上高地



ウォルター・ウェストンが愛したクラシックトレイルを辿り、徳本峠を越えて上高地へ。

- 2023年11月現在
島々谷～徳本峠通行止め**
- 歩行距離 25.3km
 - 難易度 ★★★

Section1 松本～島々



アルプス公園から、北アルプスの山並みや豊かな水に育まれた松本の文化に触れ、梓川沿いを島々谷へ。

- 歩行距離 18.1km
- 参考タイム 約4時間30分
- 最高・最低標高 780～574m
- 難易度 ★

※国土地理院の地理院地図ベクターを加工して作成